

1.背景・目的

近年、各地でQMAコス(通称アニラン7)が増加している傾向が見られ、QMA大会等の盛り上げに一役買っている。しかし、その一方で「衣装を着ただけ」「コスすることによりゲーセンに多大な迷惑をかけている」などのモラル・クオリティの低下も引き起こしているのは事実である。そこで今回、実験的にコスプレ勉強会を開催し、コスプレの在り方・メイク・振る舞いを学び、アニラン7のクオリティを向上させることを目的とする。

2.日時

開催日時:2010.02.28(日)  
開催場所:群馬県高崎市 貸しダンススタジオ「カルチャージョイ」

3.参加者

講師:「まーごん」さん  
受講者:「びうねい」さん、「しーな」さん、「なでいあ」さん、「KATSU2」さん、「やきうこぞう」さん、「セブン」

4.勉強会内容

「まーごん」さんを講師として、勉強会を進行して頂いた。



勉強会の様子

講義の内容は、要点を絞って以下にまとめる。

4-0)コスプレとは

「コスプレ」とは、作品の姿を借り演じることである。  
**キャラのイメージを壊すような行為は絶対にさけるべき。**

4-1)コスプレに必要な道具

コスプレに必要な道具を下表にまとめる。

表1.道具・衣装

| ①普段からの身だしなみ   | ②衣装   | ③メイク   | ④その他  |
|---|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・化粧水</li> <li>・乳液</li> <li>・リップ</li> <li>・ヒゲ剃り等</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウイッグ</li> <li>(場合によりエクステ)</li> <li>・ネット</li> <li>・ブラシ</li> <li>・ミスト</li> <li>・制服</li> <li>・キャラにより小道具</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベース(下地)</li> <li>・ファンデーション</li> <li>・コンシーラー</li> <li>・アイライナー</li> <li>・マスカラ</li> <li>・ビューラー</li> <li>・アイシャドウ</li> <li>・チーク</li> <li>・口紅、グロス</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カラコン</li> <li>・その他衣装・小道具</li> </ul> |

4-2)普段からの身だしなみ

コスプレをしていない状態でも、普段から身だしなみへの意識を高めることが必要不可欠である。  
**コスプレの時にだけ意識しようとしても、それはムリというもの。**  
普段から十分注意しておく。

- ・不精ヒゲはやめましょう。
- ・普段から清潔でいましょう。
- ・眉毛・肌の手入れ等も忘れずに。  
(化粧水・乳液は役割が違う。化粧水は水分補給、乳液は保水。したがって化粧水→乳液の順でつける)

#### 4-3)衣装・ウィッグ

- ・衣装はオークションから公式物、一品物まで。コストとクオリティは基本的に比例関係。
- ・ウィッグは、maple、ゼファーが有名。単価は5000円くらい。

表2.衣装、ウィッグ



#### 4-4)メイク

衣装を着て、ウィッグを被っただけでは、コスプレとは言わない。  
先にも述べたが「コスプレとはキャラの姿を借りて演じること」である。  
ならば、外観をより一層、**そのキャラに近づけることは、レイヤーとしての義務である**と考えられる。  
特に女装の場合、ノンメイクでは見るに耐え難い場合が多い。その原因の一つがヒゲである。  
また女性に比べ、男性は普段の肌の手入りを怠っていることが多く、肌が汚い場合がある。  
男性キャラを行うにしても、ノンメイクは危険。やはりヒゲがネックとなる。  
メイクは必要不可欠なものとして捕らえて欲しい。

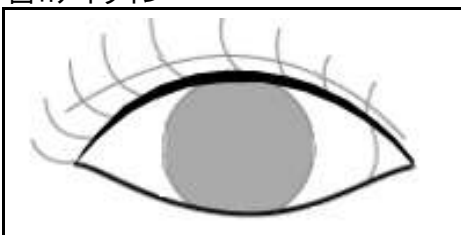
##### ・メイクの手順

- ①ベース(下地) → ②コンシーラー → ③ファンデーション → ④アイブロー → ⑤アイライン → ⑥アイシャドウ → ⑦マスカラ → ⑧チーク → ⑨リップ、グロス

##### ■アイライン

今回は中でも、特に難しいアイラインについてまとめる。

図1.アイライン



**アイラインとは、目元をくっきりと際立たせる効果がある。また、目を大きくみせることも出来る。**

図1.において、黒く引いた線となる。

アイラインを引くのに必要な道具は「アイライナー」である。

アイライナーには、ペンシルタイプとリキッドタイプの2種類があり、それぞれ以下の特色を持つ。

表3.アイライナーの種類

| タイプ     | 長所                                | 短所  |
|---------|-----------------------------------|---|
| ペンシルタイプ | ・自然な目元に仕上がりがやすい。<br>・失敗しても修正が簡単。  | ・リキッドに比べ、インパクトが弱い。<br>・リキッドに比べ、メイクが崩れやすい。           |
| リキッドタイプ | ・目が際立ち、大きな目に見せやすい。<br>・メイクが崩れにくい。 | ・メイクが難しく、失敗した際の修正が効きにくい。<br>・上手く仕上げないと、コワい目元になりやすい。 |

最初はペンシルタイプから入るのが無難である。メイクに慣れてきたらリキッドにも挑戦。  
また、ペンシルとリキッドの複合技も効果あり。

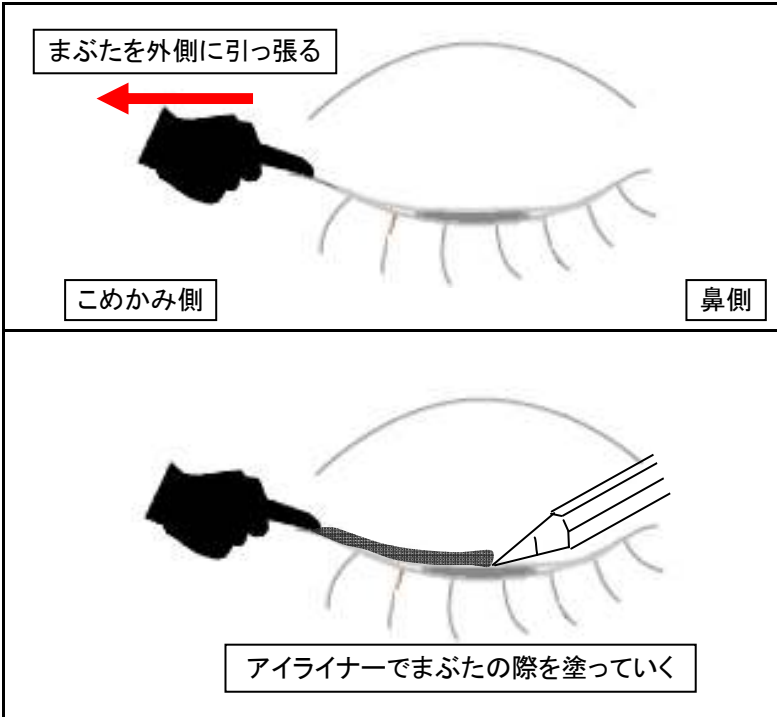
#### 4-4)メイク・アイライン続き

アイメイクのやり方を以下に記載する。

##### <上のライン>

まず目を軽くつむる。その後、目の端を指で外側に引っ張る。(まぶたが伸び、塗りやすくなる)  
次にまぶたの際をアイライナーで引いていく。  
アイラインの太さは好みだが、目を大きく見せたい場合は太めに引くのも効果がある。

図2.上のライン

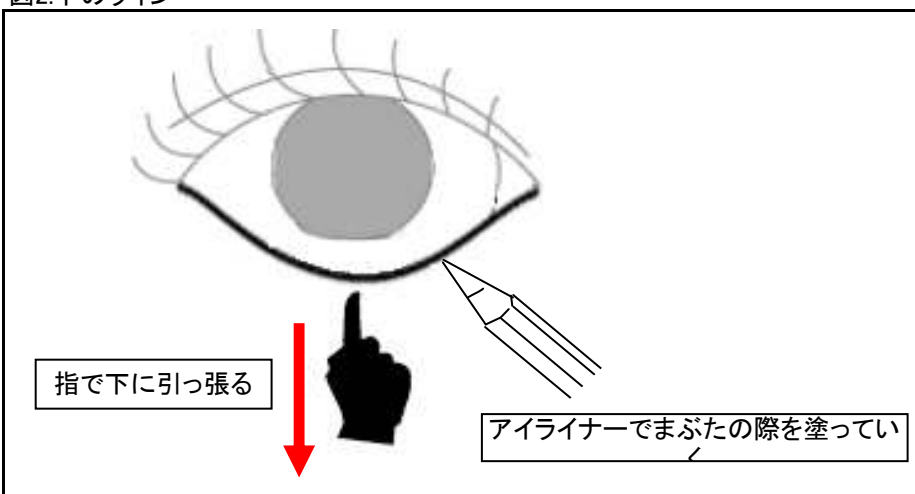


最後に面棒でアイラインの境をぼかすと不自然になりにくい。リキッドタイプの場合は特にぼかしが必要。

##### <下のライン>

下のラインは、下のまぶたを指で下に引っ張り、目の際にアイラインを引く。

図2.下のライン



上下いづれも目の近くという事もあり、最初はかなりの抵抗がある。

こればかりは回数をこなすし、慣れるしか方法はない。

メイクにおいて目元は、「目力」という単語が造られるくらい重量なポイントである。アイメイクは是非マスターしたい。

#### 4-5)その他のメイク

その他のメイクに関しては、今回は割愛したい。  
今後、再び勉強会が行われた際にレポートとしてまとめたいと思う。

#### 4-6)コスプレ最中の行動

**どんなに外観がそのキャラクターに近づいても、行動一つで全くイメージが変わってしまう場合がある。  
そのキャラクターがどのような動きをするか、仕草をみせるか、表情をするか、しっかり把握する必要あり。**

特に女装する場合、普段のような動きは禁物。  
例えば、スカートを履いたときに足を開いて座ると、非常にカッコ悪い上、女性らしくない。  
私の経験だが、大げさに女性らしくやるくらいがちょうど良く見えると思う。  
(自分では大げさにやっていますが、実際はそこまでやっていない場合が多い。無意識に自重するものと思われる)

また、余りにも酷い振る舞いによっては、イベントでコスプレ・女装が禁じられる場合がある。  
**特にゲームセンターでは一般客も多数来ており、一般客の迷惑になる行為は絶対に行ってはならない。**  
本人がその気がなくとも、その振る舞いによって見ている側が不快に思ったら、それは迷惑以外のなにものでもない。  
コスプレを楽しく続けたい場合は、周囲の事も考えた行動も必要になる。

#### 5.まとめ

今回の勉強会では、特にメイクに関して非常に勉強になった点が多かった。そして、私を含めて各々今後の課題が見えてきたと思う。今後は、各人がそれぞれの課題をクリアし、より一層の高みを目指すことでアニラン7のレベルアップに繋がれると思う。そういった意味でも今回の勉強会は成功であったと考える。コスプレの精度が高まれば高まるほど、演じている側は楽しくなるだろう。今後も皆の、そして己のコスプレ技術向上の為に勉強会を続けて行ければによりである。



以上

#### □参考文献・画像□

- ・「まーごん」さん作成による勉強会テキスト
- ・「Candyone」さん、QMA制服画像
- ・「maple」さん、ウイッグ画像